【専門分野】

科目名	診療関連援助技術Ⅱ (診療に伴う援助技術：検査・治療・処置)	講師名	専任教員	学年	1	履修期	第２学期
単　位	１単位						
時間数	３０時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	検査・治療・処置を受ける対象への援助技術を習得する。						
授業科目目標	１．診察・検査の基礎知識、看護師の役割が理解できる。 ２．静脈血採血の基本技術が習得できる。 ３．包帯法・救命救急処置技術が習得できる。 ４．化学療法・放射線療法を受ける患者の看護が理解できる。						
授業計画	１回：診察・検査における看護 １）診察時の看護 ２）診察における看護師の役割 ２回：生体検査時の看護 １）生体検査時の看護 ２）検査別の看護上の留意点 （１）エックス線撮影、超音波、ＣＴ、ＭＲＩ、心電図、内視鏡、 （２）核医学検体検査時の看護 ３回：ME機器の使用と看護 心電図モニター、12 誘導心電図、 ４回：検体検査時の看護 １）検体検査時の看護 ２）検査別看護上の留意点：血液、尿、便、喀痰採取時の看護 ５～６回：検体検査時の看護 １）静脈血採血法の実際 ７回：検体検査時の看護 １）検査別看護上の留意点：胸腔、腹腔、腰椎、骨髄穿刺時の看護 ８～９回：創傷管理・救命救急処置技術 １）包帯法　２）一次救命処置 ３）止血法　４）院内急変時の対応 10～11 回：一次救命処置の実際 12～13 回：化学療法を受ける患者の看護 １）化学療法の目的・種類　２）抗がん剤暴露防止 ３）化学療法による身体的影響　４）投与前、投与時、投与後の看護 14 回：放射線療法を受ける患者の看護 １）放射線療法の目的・種類　２）放射線暴露防止 ３）放射線照射時の看護　４）有害反応の予防と看護 15 回：終了試験	講義 講義 講義 講義 演習 講義 講義 演習 演習 講義 講義						
評価方法	筆記試験						
テキスト	１．系統看護学講座　専門Ⅰ　基礎看護学技術Ⅱ　基礎看護学［３］，医学書院. ２．系統看護学講座　別巻　臨床検査，医学書院.						
参考書	竹尾惠子他：看護技術プラクティス，第４版，学研.						
学生へのメッセージ	本科目では、対象にとって身体的にも精神的にも侵襲が大きい診療（検査・治療・処置など）における看護について学習します。対象の不安や苦痛を最小限にする為の配慮や、科学的根拠のもと安全安楽な看護技術が提供できる為の基礎的知識、技術、態度の習得を目指します。 校内実習では、具体的な援助方法や対象の心理について考えてもらいます。主体的に取り組みましょう。 【関連科目】解剖生理学Ⅱ・Ⅲ、臨床治療論、共通基本技術Ⅱ						